



2024年4月18日

発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

京丹後に棲む
絶滅危種のハヤブサ

4/21 京丹後市議会選挙



永井友昭さん

4月21日(日)は京丹後市議会選挙の投票日です。永井友昭さんも「京丹後宇川の風」代表として再び立候補しました。この文章が手元に届くころにはすでに結果が明らかになっているかもしれません。

今回の京丹後市議会選挙では定数20人のところに現職13人、新人9人、元職1人の計23人が立候補しています。現職が7人引退ということで、議員の顔ぶれは大きく変わることになります。新人の多くは保守系議員の入れ替わりで、この4年間の市議会の構図が大きく変わることはなさそうです。また、市長選に関しては、米軍Xバンドレーダー基地を受け入れた当時の市長である現職の中山泰氏が無投票で当選することになりました。市議会選挙に先立って4月4日に「永井友昭さんを応援する集い」を京都市内で開催し(主催・永井友昭さん応援する会)、永井さんにはオンラインで報告をいただきました。3月に行われた安全安心連絡会などについて最初に報告していただいた後、市議会選挙をめぐる状況や4年間の議員活動について報告していただきました。

永井さんは2019年に初当選した後、「野の声を市政に」の思いで、毎回の定例議会で質問を行い、それを「チャレンジ通信」にまとめ、新聞折り込みで市内各戸に届けてきました。それについては地元まわりのなかでも反応がよいということです。質問では米軍基地問題についても毎回触れおり、基地状況のチェックは今も毎

日行っています。米軍基地問題をはじめ、風力発電所問題、小学校の統廃合問題など多くの課題があるなかで、議会と現場を結んだ永井さんのさらなる活躍に期待したいと思います。

基地強化・関西での

戦争準備とのたたかいを

一方、米軍Xバンドレーダー基地をめぐるっては、引き続き課題があり続けています。日米韓のレーダー情報の即時共有で基地機能が強化されるなか、土地利用法による基地周辺の「特別注視区域」としての告示・施行がいよいよ迫っています。自衛隊経ヶ岬部分屯基地の「強じん化」工事は、今年度から始まります。米軍関係者の交通事故の公表問題をはじめ、米軍・防衛省の隠ぺい体質は変わっていません。

同時にいま、自衛隊舞鶴基地に所属するイージス艦へのトマホーク配備(来年に計画)、これと深く関連した京都府精華地用の陸自祝園(ほうその)駐屯地でのミサイル弾薬庫建設をはじめ、関西でも戦争準備が進行しています。これらに対するたたかいと京丹後の米軍基地反対を結びつけながら、京丹後・宇川の米軍Xバンドレーダー基地の撤去をめざす運動を前進させてきましょう。6月2日(日)には近畿連絡会主催で京丹後現地集会を予定しています。現場からの取り組みで岸田政権をやめさせ、戦争政策を阻止しましょう。

京丹後現地訪問案内

4/30(火) 5/14(火)

午前8時30分、鴨川五条大橋西詰 GS 前集合

*参加を予定する方は事前連絡をお願いします。

(池田: 090-7108-5508)

石垣島・陸自開設一周年 抗議行動に参加して

池田高巖

3月23日から24日にかけて、石垣島での陸上自衛隊の基地の開設一周年に抗議する取り組みが行われた。名称は「島々を戦場にするな！全国と繋がれin石垣島」。「石垣島の平和と自然を守る市民連絡会」と「基地いらないチーム石垣」による実行委員会が呼びかけた。

進む石垣島の軍事化

島のほぼ中心にある陸自石垣駐屯地は昨年3月15日に開設された。広さは47ヘクタール。於茂登（おもと）岳の麓に広がる森林を切り拓いて造られた基地には自衛隊員約570人が駐留し、開設同時に地对艦ミサイルが配備された。射程距離200キロほどのこのミサイルは、現在その射程を1000キロ以上に延ばす開発作業が進められている。同じ地对艦ミサイルが配備されている宮古島などと同じく、自衛隊による敵基地攻撃態勢づくりの最前線だ。

日米合同軍事演習のためにオスプレイが初めて飛来し（昨年10月）、迷彩服を着た自衛隊員がパレードと称して市街地を行軍するなど（昨年11月）、基地が造られたことで島の軍事化が急速に進んでいる。今年3月11日から13日にかけては、米軍のイージス艦が石垣港に寄港し（反対運動によって直接接岸せず沖合に停泊）、これに対して全港湾沖縄地本は石垣港での全面ストライキで対抗した。

デモ・屋外集会・全国交流会



3月23日の午後からは石垣港に近い市街地に

ある新栄公園で屋外集会。約150人が集まった。石垣島以外からは約50人ほどだろうか。集会のなかでは、石垣島の人々以外に沖縄島のうるま市、宮古島、与那国島からの発言があり、馬毛島や奄美大島からは連帯メッセージが寄せられた。ミサイル配備から命を守るうるま市民の会の照屋寛之さんは、陸自沖縄訓練場の拡大に反対するこのかんの市民のたたかいを報告しつつ、八重山を戦争のための捨て石にさせてはならないとアピールした。チーム石垣の上原正光さんは、再びアジアを戦場化してはならない、アジアとつながる反戦運動を、と訴えた。

夜には川原公民館で全国交流会がもたれた。川原地区は陸自基地の建設に反対し続けてきた四つの地区の一つだ。交流会は川口真由美さんの歌で始まり、各地からの参加者が地元での活動などを報告した。昨年3月の基地開設に対する抗議行動に参加して再び石垣島を訪れていた韓国の若者の発言もあった。

翌24日の午前は、川原地区から陸自基地に向けて約1キロをデモ。道路の両脇にはサトウキビやパイナップルの畑が広がる。基地前に着いたところで、スタンディング・アピール。京都連絡会からも強化される京丹後の米軍Xバンドレーダー基地の問題、祝園でのミサイル弾薬庫の建設問題に対する取り組みをアピールした。

陸自石垣駐屯地前 抗議行動



基地前でのスタンディング・アピールは、隣接する道路の脇に並んで行われていたが、私たちの側が萎縮してはならず、ゲート前で抗議しようという宮古島の清水早子さんの提起を受けて、基地ゲート前に移動しての抗議のシュプレヒコールで行動は締めくくられた。



共同記者会見でバイデン米大統領（右）の話を聞く岸田文雄首相＝ホワイトハウスで2024年4月10日、ロイター

日米首脳会談と共同声明

(文責：瀧川)

4月10日、岸田首相とバイデン大統領はホワイトハウスで会談し、「未来のためのグローバルパートナー」と題した共同声明を発表。

共同声明は、「日米同盟は前例のない高みに到達した」「我々は、日米両国及び世界の利益のために現在及び将来の複雑で相互に関連する課題に対処するという目的にかなうグローバルなパートナーシップを構築するため、あらゆる領域及びレベルで協働している」と高揚した表現で始まっている。

声明には、防衛・安全保障協力の強化を中心に、技術、投資、宇宙、気候変動、核不拡散、外交…など70以上の合意がてんこ盛り。「高み」と「協働」の中心は、防衛・安全保障協力の日米融合である。自衛隊と在日米軍の「指揮統制枠組み向上」は「一体化」に向けて進んでいる。米国が中心で同盟国とそれぞれつながる「ハブ・アンド・スポーク」の2国間型の同盟関係から、同盟国同士の関係を強化した「格子状」(エマニュエル駐日大使)の同盟関係へと進化させることで抑止力を高めようとしている。共同声明に、日米豪、日米英、日米韓がうたわれ、日米首脳会談に合わせて日米比会談が開かれることもその表れである。

この背景には既存の国際秩序が根本から揺さぶられている厳しい環境がある。中国の軍事と経済の強大化、ロシアのウクライナ侵攻や朝鮮、イランとの協力などである。米国にはもはや二正面を構える余裕はない。世界秩序を支える米国という役割に、米国自身が疲労感を覚え、同盟国に支えてもらいたいという発想がそこにある。米国の軍事力は圧倒的な存在でなくなってきた。「日米がともに立ち向かう態勢を整えなければアジアでの抑止力を維持できない」という共通の危機感に裏付けられたものだ。

戦争国家づくりを加速する跳躍台としての訪

米・首脳会談。2015年4月、当時の安倍首相の訪米は、歴代政府が憲法違反としていた集団的自衛権の行使を認める閣議決定(2014年7月)の翌年です。安倍首相は首脳会談や議会での演説で、海外での米軍の戦争に自衛隊が参戦することを可能にする安保法制=戦争法の成立を誓約した。

今回の岸田首相の訪米も歴代政府が違憲としてきた敵基地攻撃能力の保有などを盛り込んだ安保3文書の閣議決定(2022年12月)を受けたものだ。先述した米国のエマニュエル駐日大使は岸田首相の国賓待遇での米国招待について、安保3文書に明記された軍事費の国内総生産(GDP)比2%への増額や敵基地攻撃能力の保有、そのための米国製巡行ミサイル・トマホークの購入を挙げ、「岸田首相は2年間で70年来の(日本の安全保障)政策の隅々に手を入れ、根底から覆した」と述べている(産経新聞)。今回の共同声明の内容は、日本国憲法と相いれない日米安保の大変質である。特徴的な点を下記に示す。

岸田政権は、安保3文書に基づき、陸・海・空自衛隊を一元的に指揮する「統合作戦司令部」を24年度中に創設する。これを踏まえ、共同声明は、米軍と自衛隊の指揮統制の連携強化を表明した。さらに、岸田政権が殺傷武器の輸出拡大を強行したことを踏まえ、日米共同で「日米防衛産業協力・取得・維持整備定期協議(DICES)」を開催しミサイルの共同開発、共同生産を進めると宣言した。これは「武器輸出三原則」が根本理念としてきた「国際紛争の助長を回避する」という「平和国家の理念」を投げ捨てるものである。また、辺野古新基地建設を「唯一の解決策」として強行することを明記したことは沖縄県民多数の民意に反するものである。

新聞には「日米 内憂外患の「蜜月」」と書かれている。両首脳の足元を見ると、それぞれ支持率が低下し続けている。両首脳はやめるかもしれないが、共同声明のみが残って戦争国家へと突き進むのではないかと危惧される。戦争国家への道を阻止するたたかいを強めよう。

4月例会のお知らせ

日米首脳会談の意味するもの

報告 池田たかねさん

4月25日<木> 18:30～

ひとまち交流館 第一 無料

5月例会のお知らせ

三線弾き語りと＜沖縄・祝園・敷戸＞ 弾薬庫反対報告と意見交換会

文責 大湾

三線担いで沖縄から村上直さんがやって来る!

人頭税廃止運動の歓びを歌った宮古島の民謡

「鏡原馬場あやぐ」「張り水のクイチャー」(声合)」

当日、歌詞を配り、皆さんに聴いていただきたいです。

5月23日(木)18:30～

京都教育文化センター 101号室

会場費&資料代込み 500.-



村上 直さん(むらかみただし) 72歳

1952年2月、京都市伏見区 生。

大阪大学卒 高校社会科教師。

京都市立高等学校教職員組合副委員長・議長

修学旅行引率時に沖縄の魅力を知り

2018年退職、3日目で那覇へ移住。

「さんしんカフェ経営」沖縄宮古民謡協会事務局長・教師・理事
・琉球古典音楽・八重山古典民謡を修業中。

那覇市平和通り商店街振興組合理事。2023年 辺野古新基地阻止行
動中に大湾宗則さんの知遇を得る。2024年「京都連絡会」入会。

うるま市住民が自衛隊訓練施設建設を4/11撤回させた! 敗北から反省を 勝利から教訓を!

敗北続きの反基地闘争の中で、目を見張る勝利を手にしたうるまの人々。2024年度防衛予算の中にこっそりとうるま市旭区にあるゴルフ場跡地を取得して陸上自衛隊訓練施設の新設を市や住民に知らせず独断で防衛省が計画していたことが2023年12月に判明。理由は那覇市にある陸自第15旅団を師団に格上げ、隊員数の増加に伴う訓練場の新設。これを知ったうるま市の旭区自治会(ゴルフ場を抱える)が今年の1月14日、臨時総会を開き、全会一致で反対決議。瞬く間にうるま市63自治会全てで反対決議。3月7日には県議会が全会一致で白紙撤回決議。3/10うるま市のゴルフ場を抱え、米軍ジェット機墜落事件の宮森小学校被害者の人々が多くいる石川地区の17団体が「自衛隊訓練場設置計画の断念を求める会(共同代表 伊波常洋元自民党県議)」が立ち上がった。

3/19遅ればせながらうるま市議会(与党議員3名欠席)も全会一致で白紙撤回決議。⇒3/20 地元中心の1200人の住民が集まる中で政府・防衛省に「自衛隊訓練施設を断念せよ」の決議と5500人の署名を届けた。

4/11、木原防衛相が白紙撤回した後の記者会見で共同代表伊波常洋さんの一言が基地闘争勝利の格言を言い当てている。「…(地元)住民が団結すれば政府より強い力を発揮するとつくづく思った」と。

詳しくは5/23 例会 当日に資料として提供します。

(メンソーレ! 5/23三線ライブとシンポジウムへ)

「街なかビラ」の報告と

今後のお知らせ(文責 白井)

2024年3月の報告

第167回 3/14(木)堀川三条商店街 4人

<街の人の声>

●(近くのお店の人)ビラを受け取らない人が多いのを見て「みんなはこの危険な政治をどう思っているのか?家で子供や孫に戦争中の話もする」(80代女)

●「今までの調子で買い物するとレジでびっくりするほど、物価が上がっている」(50代女)

●「政治家が与野党を問わず勉強していないから政治のレベルが低い。若い子も自分の頭で考えるようにならないと」(70代?男)

第168回 3/25(月)JR「二条駅」周辺 3人

雨も昼前には止みそうでした実施したが、参加者の出足は鈍りました。

<街の人の声>

●「京丹後に住んでいる友人は“基地は困ると言っている”」(40代?女)

●「こんな事知らなかった。帰ってから読みます」(女)

●「戦争準備と違う!抑止力や!もっと勉強せんとアカン」(60代?男)

●「私は一切、世の中の動きには関心がない。明日の事など考えない」(60代?女)



今後の予定です

第169回 4月18日(木)烏丸北大路周辺

※「ハヤブサ」が届く時は終了しています。

第170回 4月26日(金)百万遍 周辺

集合場所:百万遍交差点の西北角

時間はいずれも11:00~12:00です。

無理のない体調でご参加ください。待っています。

連絡先:090-5672-1597(白井)